

シリーズ
防災安全
No.38

火 災 (初期消火のポイント)

前々回のシリーズ防災では、初期消火の中でも特に火災予防、早期発見の部分をポイントにお話ししましたが、今回は実際に「火を消す」というところにポイントを当ててお話ししたいと思います。

万が一出火してしまった場合、火炎が天井に達しないうちに消火することができれば、命を守り、財産の損害をわずかにとどめることができます。住宅などでも火元から周囲に着火する前に消し止めるのが理想ではありますが、その消火方法が非常に重要です。

火を消す方法には①水を掛けて冷やす ②酸素を遮断する ③可燃物を除去する などがありますが、出火原因に合った消火方法でないと被害をかえって悪化させてしまいます。

【消火のポイント】

<p>油の入った鍋やコンロ</p> <p>絶対に水をかけない。消火器で消すか、濡らしたシーツやタオルで全体を覆う、蓋をしてからガスの元栓を閉める。</p>	<p>石油ストーブ</p> <p>毛布などをかぶせ、上から一気に水をかける、消火器でもよい。</p>	<p>カーテンやふすま、障子</p> <p>水か消火器を使い、天井に火が届かないようレールから引きちぎる、けり倒す。</p>
<p>洋服</p> <p>水をかぶるか、転げ回る。</p>	<p>電化製品</p> <p>コンセントを抜き、ブレーカーを落としてから消火器、水で消火する。</p>	<p>たばこ</p> <p>火種が見えにくいので、広範囲に水や消火器で消火する。</p>

上にポイントを並べましたが、**火事は出火から3分以内が単独での消火の限度**です。天井に火が移ると火災は一気に拡大するので人命を第一に、決して無理はしない様行動しましょう。

～ 災害時 その判断が 分かれ道 ～

シリーズ
包括支援
No.38



こんにちは 八百津町地域包括支援センターです

～積極的な生活が“閉じこもり”を防ぎます～

高齢期になると、いろいろな理由により生活の幅がせまくなり、家に“閉じこもり”がちになる方が多くなります。“閉じこもり”の状態が長く続くと次第に心身の健康が損なわれ、介護が必要な状態になる恐れがあります。

これを防ぐためには、積極的な生活を送ることが大切です。

以下のような事を意識的に取り組み、家庭や地域で役割を担い社会や人との関わりを持ち続けることが大事です。

- ◎積極的に外出しましょう！
- ◎地域活動に参加してみましょう！
- ◎趣味を楽しみましょう！
- ◎自分で出来ることは自分でしましょう！
- ◎食事は3食しっかりととりましょう！
- ◎家の中でもなるべく立ち上がりましょう！



< 4月 こころの相談の予定 >

- ・ 4月14日(月) 午後から
高齢者や介護者家族のための「こころの相談」(事前に予約が必要です)

☆5月から、毎月第1水曜日に介護巡回相談会を行います。介護や認知症等について心配や不安なことがあれば何でもご相談ください。(相談会の詳細は次回ご案内いたします。)

お問い合わせ 地域包括支援センター ☎ 43-3267 または ☎ 43-2111 (内線 2566・2567)
メールアドレス: houkatsu@town.yaotsu.lg.jp